

「タペンタドールへのオピオイドスイッチングによる効果および有害反応に関する後方視的調査」についてのお知らせ

北里大学病院（以下当院とします）では、「**タペンタドールへのオピオイドスイッチングによる効果および有害反応に関する後方視的調査**」を行っています。以下に調査の目的、内容を示します。

調査の目的：当院で鎮痛薬の『タペンタドール（商品名：タペンタ錠）』が処方された方の診療録および血液生化学的検査の結果を調査します。これらの結果においてタペンタドールの効果や有害事象発生状況を調査し、タペンタドールを使用した時の効果や安全性に関する参考資料とします。

対象となる患者さん：当院で2014年9月1日から2016年8月31日までに外来診察において『タペンタドール（商品名：タペンタ錠）』を処方されたことのある方。

調査方法：対象患者さんの診療情報記録から以下の項目を調査します。

調査項目：年齢、性別、診断名、併用薬、腎機能検査値（BUN、Scr）

肝機能検査値（AST、ALT、Al-P、 γ -GTP、LDH）

鎮痛薬の処方内容（処方日、処方日数、用法・用量）タペンタドールの使用目的
痛みの程度、有害事象（嘔気、眠気、便秘）の発生状況

調査項目はすべて過去に検査が行われたデータのみです。

調査したデータは北里大学病院薬剤部で集計し解析します。このデータは厳重に管理され、上記目的以外には使用しません。データ上すべての患者さんは匿名化され、お名前、住所など個人情報に関する情報が外部に漏れることは一切ありません。また、調査の結果が医学的な専門学会や専門雑誌などで報告されることがありますが、そのような場合も個人情報が発表されることはありません。

このお知らせは2017年7月28日より2017年8月11日まで北里大学病院に掲示します。調査対象に該当する患者さんで、調査への診療情報の提供に同意されない方は**下記研究責任者に2017年8月11日までにお申し出ください。調査への診療情報の提供に同意されなくても不利益を受けることは一切ありません。**ただし、この掲示・提示期間終了前に学会や専門雑誌への報告が行われる場合があります。報告された内容は取り消しができませんのでご了承ください。

この件に関しまして、ご質問などがございましたら、研究代表者に遠慮なくご連絡ください。

研究責任者：北里大学病院薬剤部 ほんま 本間 まさし 雅士

電話 042 - 778 - 8111（代表）

〒252-0331 神奈川県相模原市南区北里 1-15-1